

# 高砂屋

(愛称)

## 4月1日(土) オープン!

この城下町とっとり交流館「高砂屋」は、大地震や大火により、中心市街地に現存する歴史的建造物の少ない本市にあって、城下町の風情を今に伝える貴重な歴史的資産と位置づけ、まちの記憶となるよう保存・整備を行ったものです。

この建物は、藩主池田光仲とともに鳥取に移住した御用商人の高砂屋池内家が、明治の中頃から元大工町の薬研堀沿いで、綿商いを営んできた商家で、明治期に建てられたとされる向かって右側の店舗棟は、間口が5間にもわたる土間空間、1本ものの梁や土間に突き出た帳場が当時の商家の基本的な様式をよく示しています。さらに、2階の座敷の長押、欄間、襖、紙障子の設えは、意匠をこらした姿を呈しており、城下町商人の店がどのようなものであったのかを、今に伝えています。

### 明治時代の商家の風情を今に伝える 貴重な資産を保存・活用。

城下町とっとり交流館「高砂屋」の整備は、建物の面する道路の拡幅事業にともない、まちの記録である歴史的建造物が解体されることのないよう、本市が保存に取り組んできたものですが、その整備や活用方策の検討に当たっては、市民活動団体による議会への請願や歴史的建造物活用方策検討委員会の結論、そしてパブリックコメントなど、市民のみなさんをはじめ各方面の意見を積極的に取り入れながら進めてきました。

また、この整備は、行政による歴史的建築物の保存活用にとまらず、この取り組みをきっかけとして、地元でのワークショップや市民活動団体による「大工町通りを考える会」の開催、地域の将来像を含めたみちづくり・まちづくりを考える市民の取り組みが行われるなど、地域の活性化にもつながっています。



- 施設概要 敷地面積 882.1 平方メートル / 木造 2 階建て瓦葺き / 延べ床面積 531.1 平方メートル
- 開館時間 午前9時～午後5時 (多目的交流室の夜間使用がある場合は、午後9時まで)
- 休館日 毎週月曜日 (ただし月曜日が祝日の場合、直後の休日でない日) および 12月29日～翌年1月3日
- 入館料 1階の土間、帳場、休憩・展示室、休憩室の入館は無料
- 多目的交流室利用料金 (1室1時間につき)

区分	午前9時～午後5時	午後5時～9時
和室	270円	370円
板の間(大)	310円	430円
板の間(小)	270円	370円

■問い合わせ先 「高砂屋」(元大工町1番地)  
TEL (0857) 29-9024



熱心に議論が交わされた「大工町通りを考える会」